

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※2	備 考 ※3	※4
北海道	はまとんべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	カモ類 5万羽 〈9月中旬～4月下旬〉 ハクチョウ類 5千羽 〈10月中旬～4月下旬〉	カモ類 39,000羽、 コハクチョウ 3,389羽、 オオヅル 2羽	※主に渡去の中継地 10/24にハクチョウ5,500羽飛来。 オオヅル・オジロヅルも見られるようになった。 (10/26現在)	北海道
	みやじまめま 宮島沼 (美唄市)	マガシ 約5～6万羽 〈秋期9月下旬～10月下旬、 春期4月〉 他にマガシガモ等カモ類、 コハクチョウ等ハクチョウ類	マガシガモ 500羽、コガモ 275羽、 ミヅヅク 100羽、コガモ 275羽、 カガモ 30羽、ツルギ 20羽	※主に渡去の中継地 マガシの主要な群れは南下。 ハクチョウ類・ヒシクイなどは、 数十羽から数百羽が短期的に滞る。 (10/25現在)	
	ウトナイ湖 (苫小牧市)	ハクチョウ類 〈10月上旬～4月下旬〉 ガン・カモ類 〈9月中旬～4月上旬〉 オオヅル、オジロヅル	ガン・カモ類 1,144羽、 ハクチョウ類 155羽、 セグロカモ 1羽	※主に渡去の中継地 カモ類の飛来数、最大350羽確認。 ハクチョウ、ガン・カモの渡り中継地として日々飛来数 が変更。オオハクチョウ類飛来数、 最大250羽確認。 (10/25現在)	
	とうふつこ 濤沸湖 (網走市、小清水町、 白鳥公園付近)	オオハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オオヅル、オジロヅル	カモ類 10,000羽、 オオハクチョウ 184羽	※主に渡去の中継地 オオハクチョウは増加する時期。 (10/22現在)	釧路
	ふうれんこ 風蓮湖 (根室市、別海町)	オオハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オオヅル、オジロヅル	カモ類・オオヅル 数未確認、 オオハクチョウ 2,994羽	※主に渡去の中継地 オオハクチョウは例年より早めの 飛来。数もやや多め。 (10/26現在)	
	あつけし べかんべうし 厚岸・別寒辺牛・霧多布 (標茶町、厚岸町、 浜中町)	(厚岸湖側) オオハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オオヅル、オジロヅル	カモ類 数未確認、 オオハクチョウ 3,000羽	※主に渡去の中継地 10/23にオオヅルを初認。 (10/31現在)	
(霧多布側) オオハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オオヅル、オジロヅル		カモ類 6,500羽、 オオハクチョウ 800羽、 オジロヅル 6羽	※主に渡去の中継地 オオヅル・カガモ、カマアサが増加。 オオハクチョウ・カモ類とも、 昨年より多く飛来。 (10/30現在)		
こみなと 小湊 (東津軽郡)	オオハクチョウ、マガシガモ、 キンクロハジロ、ユリカモ	マガシガモ 300羽、 オオハクチョウ 29羽	10月上旬よりマガシガモが 飛来。10月下旬よりオオハク チョウが飛来。(10/31現在)	東北	

秋田県	大瀧草原 (大瀧村、男鹿市)	コガモ、マガモ等カモ類 コハクチョウ等ハクチョウ類 ヒシカイ、マガン 〈10月下旬～3月下旬〉	コガモ 1,500羽、 マガモ 50羽	9/16よりコガモ、マガモが飛来。10/16よりマガン、ヒシカイが飛来。10/24よりハクチョウ類が飛来。(10/30現在)	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガン 3万羽 〈9月下旬～3月〉	ガン・カモ・ハクチョウ類 20,000羽	9/21よりマガンが飛来。 (10/25現在)	
山形県	最上川河口 (酒田市)	オカガモ 2万羽、 ホシハヅロ 2千羽、 キンクロハヅロ 2千羽、 オハクチョウ 5千羽、 コハクチョウ 3千羽、 〈10月中旬～4月中旬〉	オカガモ 14,000羽、 オハクチョウ 1,700羽、 コハクチョウ 1,100羽、 カモ類 1,500羽	9/23よりオハクチョウ数羽が飛来。10/11よりハクチョウ個体群が飛来。(10/30現在)	
千葉県	谷津 (習志野市)	カモ類 4千羽 〈10月中旬～4月下旬〉 シギ・チドリ 2千羽 〈8月上旬～5月中旬〉	ガン・カモ類 133羽、 シギ・チドリ類 618羽	台風の影響か、前回百羽を超えていたオカガモ・コガモが減少。ハマシギは大幅増加。 (10/28現在)	関東
新潟県	佐潟 (新潟市)	マガモ、コガモ等カモ類 5千羽 〈10月上旬～3月下旬〉 コハクチョウ、オハクチョウ等 3千羽 〈11月上旬～2月下旬〉	ハクチョウ類 2,070羽、 マガモ 400羽、 コガモ 2,000羽、 その他カモ 50羽	10/24よりハクチョウ類の飛来急増。マガモが増加傾向。 (10/12現在)	
石川県	片野鴨池 (加賀市)	ガン・カモ類 3千羽 〈9月上旬～4月中旬〉 コハクチョウ 4百羽 〈10月中旬～3月下旬〉	カモ類 500羽、 マガン 1,200羽	9月中旬より飛来開始。 暖かいためか、カモの数が少ない。 (10/21現在)	中部
愛知県	藤前干潟 (名古屋市)	カモ類 3千羽 〈9月下旬～5月初旬〉 シギ・チドリ類 〈8月初旬～5月中旬〉	ユリカモ 537羽、 コガモ 1,800羽、オカガモ 1,200羽、キンクロハヅロ 700羽、 ハシロカモ 180羽、ハマシギ 800羽、シロチドリ 90羽	ハシロカモ群を多く記録。 ハマシギは例年より少ない。 シロチドリは漂鳥が多い。 (10/29現在)	
鳥取県 ・ 島根県	中海 (米子市、境港市、安来市、松江市)	カモ類 5万羽 〈10月上旬～4月末〉	キンクロハヅロ、マガン等カモ類 23,778羽	渡りのピーク。 (10/25現在)	中国・四国
島根県	宍道湖 (松江市、斐川町)	コハクチョウ 9百羽 マガン 3千羽 カモ類 5万羽 〈10月～5月〉	マガン 1,400羽、 カモ類 9,200羽	潜水カモの群れが多い。 (10/31現在)	

福岡県	わじろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等カモ類、 ハマシギ等シギ類 1,000～ 1,500羽<10月下旬～3 月下旬>	カモ類 150羽	カモ類種類未確認。異常な し。(10/26現在)	九州
鹿児島県	いづみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マナヅル等ツル類 <10月～3月> ヒドリガモ、マガモ等カモ類 <10月～3月>	カモ類 2,600羽、 ナベヅル 6,000羽、 マナヅル 80羽	異常なし。(10/28現在)	
宮崎県	きりしま みいけ 霧島<御池> (都城市、高原 町)	マガモ等カモ類 <10月～4月>	マガモ 50羽	10/18より飛来開始。 (10/24現在)	
沖縄県	まんこ 漫湖 (那覇市、豊見城市)	ムナヅロ、アカアシギ等のシギ ・チドリ類、カモ類 <冬期間>	シギ類 95羽、 サギ類 25羽、 チドリ類 47羽	渡来中。(10/24現在)	那覇

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況をとりとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。